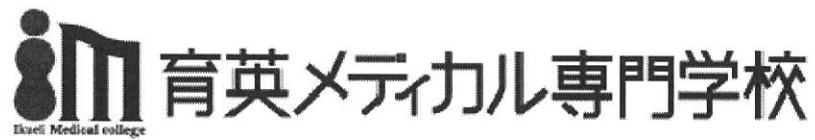


令和6年度



柔道整復学科 3年

講義要項 (シラバス)

講義科目名	柔道整復実技Ⅷ	分野区分	専門分野
担当教員名	福田 泰昌(実務経験有り)	講義回数	40回
履修学年	第3学年	履修期間	通年
講義内容	<p>柔道整復学を総論・各論ともに総合的に復習する。 認定実技試験合格に向けて実技を復習して行うこともある。 特に必修項目については繰り返し学習し、どのような聞かれ方をされても全員が即答で正解できる状態を目指す。</p>		
評価	<p>期末試験の得点で評価する。 出席状況、授業態度、小テストの結果などは年度末の総合評価の時点で加味することがある。</p>		
備考			
参考書等			

第3学年 科目(柔道整復実技Ⅷ) 担当(福田 泰昌)

週	編	章	節	時数	日付	内容
1				1	4月8日	柔道整復学の総合的な復習
2				2	4月15日	柔道整復学の総合的な復習
3				3	4月22日	柔道整復学の総合的な復習
4				4	5月13日	柔道整復学の総合的な復習
5				5	5月20日	柔道整復学の総合的な復習
6				6	5月27日	柔道整復学の総合的な復習
7				7	6月3日	柔道整復学の総合的な復習
8				8	6月10日	柔道整復学の総合的な復習
9				9	6月17日	柔道整復学の総合的な復習
10				10	6月24日	柔道整復学の総合的な復習
11				11	7月1日	柔道整復学の総合的な復習
12				12	7月8日	柔道整復学の総合的な復習
13				13	7月15日	柔道整復学の総合的な復習
14				14	7月22日	柔道整復学の総合的な復習
15				15	7月29日	柔道整復学の総合的な復習
16				16	8月5日	柔道整復学の総合的な復習
17				17	8月19日	柔道整復学の総合的な復習
18				18	8月26日	期末試験
19				19	9月2日	期末試験解答・解説
20				20	9月9日	柔道整復学の総合的な復習
21				21	9月23日	柔道整復学の総合的な復習
22				22	9月30日	柔道整復学の総合的な復習
23				23	10月7日	柔道整復学の総合的な復習
24				24	10月21日	柔道整復学の総合的な復習
25				25	10月28日	柔道整復学の総合的な復習
26				26	11月4日	柔道整復学の総合的な復習
27				27	11月11日	柔道整復学の総合的な復習
28				28	11月18日	柔道整復学の総合的な復習
29				29	11月25日	柔道整復学の総合的な復習
30				30	12月2日	柔道整復学の総合的な復習
31				31	12月9日	期末試験
32				32	12月16日	期末試験解答・解説
33				33	1月6日	柔道整復学の総合的な復習
34				34	1月20日	柔道整復学の総合的な復習
35				35	1月27日	柔道整復学の総合的な復習
36				36	2月3日	柔道整復学の総合的な復習
37				37	2月10日	柔道整復学の総合的な復習
38				38	2月17日	柔道整復学の総合的な復習
39				39	2月24日	柔道整復学の総合的な復習
40				40	3月3日	柔道整復学の総合的な復習
				合計時数	40	

※7/15・9/23・11/4・2/24は祝日ですが、授業日となりますのでご注意ください。
 ※日程は変更されることがあります。

講義科目名	一般臨床医学Ⅱ	分野区分	専門基礎分野
担当教員名	関根 沙耶花	講義回数	40回
履修学年	第3学年（Ⅰ部）	履修期間	通年
講義内容	<p>診断学および各臓器の疾患の特徴，症状，検査結果，治療法を学んでいく。 疾患の特徴では基礎医学の知識を基盤に疾患の大まかな概念を理解する。 疾患の症状では臓器特有の症状および合併症に伴う症状を理解する。 疾患検査では臓器および疾患特有の検査値を理解する。 疾患の治療法は保存的治療と観血的治療に分けて理解する。 柔道整復師の国家試験に出題される事項を中心としてマインドマップによる授業を行う。 授業時間内に国家試験の過去問の問題演習および解説を行う。 理論と試験問題演習、マインドマップノート術により臨床医学を十分に理解する。</p>		
評価	<p>期末試験の得点で各期末の評価とする。 出席状況、授業態度、小テストなどは年度末の総合評価の時点で加味することがある。</p>		
備考			
参考書等	各自で国家試験の過去問集を購入すること。		

第3学年		科目(一般臨床医学Ⅱ)		担当(関根 沙耶花)		
週	編	章	節	時数	日付	内容
前期	1	主要な疾患	代謝・栄養疾患	1	4月8日	脂質異常症, 肥満症, メタボリックシンドロームの疾患概念
	2	主要な疾患	代謝・栄養疾患	2	4月15日	高尿酸血症・痛風の疾患概念
	3	主要な疾患	内分泌疾患	3	4月22日	内分泌総論, 内分泌間脳疾患の疾患概念
	4	主要な疾患	内分泌疾患	4	5月13日	内分泌下垂体疾患の疾患概念
	5	主要な疾患	内分泌疾患	5	5月20日	内分泌甲状腺疾患, 内分泌副甲状腺疾患の疾患概念
	6	主要な疾患	内分泌疾患	6	5月27日	内分泌副腎皮質疾患, 内分泌副腎髄質疾患の疾患概念
	7	主要な疾患	内分泌疾患	7	6月3日	内分泌性線状疾患の疾患概念とまとめ
	8	主要な疾患	血液・造血器疾患	8	6月10日	血液疾患総論, 赤血球疾患の疾患概念(貧血の各論)
	9	主要な疾患	血液・造血器疾患	9	6月17日	赤血球疾患各論の続き
	10	主要な疾患	血液・造血器疾患	10	6月24日	白血球系疾患の疾患概念(白血球, 悪性リンパ腫の各論)
	11	主要な疾患	血液・造血器疾患	11	7月1日	血小板疾患の疾患概念(特発性血小板減少性紫斑病, 血友病), 多発性骨髄腫の疾患概念
	12	主要な疾患	腎・尿路疾患	12	7月8日	腎臓疾患総論, 急性腎障害, 慢性腎臓病の疾患概念
	13	主要な疾患	腎・尿路疾患	13	7月15日	糸球体疾患, ネフローゼ症候群, 間質性腎炎の疾患概念
	14	主要な疾患	腎・尿路疾患	14	7月22日	尿路感染症, 遺伝性腎疾患, 全身疾患に伴う腎障害の疾患概念
	15	主要な疾患	腎・尿路疾患	15	7月29日	泌尿器科的疾患の疾患概念
	16	主要な疾患	問題演習	16	8月5日	診断学および臨床疾患に関する総合演習
	17	主要な疾患	問題演習	17	8月19日	診断学および臨床疾患に関する総合演習
	後期	18	前期末試験		18	8月26日
19		解答・解説		19	9月2日	解答・解説
20		主要な疾患	神経疾患	20	9月9日	神経疾患総論, 脳血管障害の疾患概念
21		主要な疾患	神経疾患	21	9月23日	脳神経腫瘍性疾患の疾患概念
22		主要な疾患	神経疾患	22	9月30日	脳神経感染性疾患・機能的疾患の疾患概念
23		主要な疾患	神経疾患	23	10月7日	神経変性疾患(認知症, パーキンソン病)の疾患概念
24		主要な疾患	神経疾患	24	10月21日	炎症性神経疾患・神経免疫疾患・筋疾患の疾患概念
25		主要な疾患	感染症	25	10月28日	感染症総論(感染経路と対策)
26		主要な疾患	感染症	26	11月4日	呼吸器感染症, 腸管感染症, 中枢神経系感染症の疾患概念
27		主要な疾患	感染症	27	11月11日	皮膚感染症, 整形外科領域感染症, 性行為感染症, ウイルス感染症(各論)の疾患概念
28		主要な疾患	リウマチ・膠原病・アレルギー	28	11月18日	膠原病総論, 関節リウマチ, 全身性エリテマトーデスの疾患概念
29		主要な疾患	リウマチ・膠原病・アレルギー	29	11月25日	強皮症, 皮膚筋炎, シェーグレン症候群, ベーチエツト病の疾患概念
30	主要な疾患	リウマチ・膠原病・アレルギー	30	12月2日	結節性多発動脈炎, リウマチ性多発筋痛症, リウマチ熱の疾患概念	
31	後期末試験		31	12月9日	後期末試験	
32	解答・解説		32	12月16日	解答・解説	
33	主要な疾患	リウマチ・膠原病・アレルギー	33	1月6日	アレルギー総論, アナフィラキシーショック	
34	主要な疾患	環境要因による疾患	34	1月20日	熱中症, 一酸化炭素中毒の疾患概念	
35	主要な疾患	総合臨床医学演習	35	1月27日	診断学および臨床疾患に関する総合演習	
36	主要な疾患	総合臨床医学演習	36	2月3日	診断学および臨床疾患に関する総合演習	
37	主要な疾患	総合臨床医学演習	37	2月10日	診断学および臨床疾患に関する総合演習	
38	主要な疾患	総合臨床医学演習	38	2月17日	診断学および臨床疾患に関する総合演習	
39	主要な疾患	総合臨床医学演習	39	2月24日	診断学および臨床疾患に関する総合演習	
40	主要な疾患	総合臨床医学演習	40	3月3日	診断学および臨床疾患に関する総合演習	
				40	※7/15・9/23	
				合計時数		

講義科目名	一般臨床医学Ⅱ	分野区分	専門基礎分野
担当教員名	青山 正洋	講義回数	40回
履修学年	第3学年(Ⅱ部)	履修期間	通年
講義内容	<p>診断学および各臓器の疾患の特徴、症状、検査結果、治療法を学んでいく。 疾患の特徴では基礎医学の知識を基盤に疾患の大まかな概念を理解する。 疾患の症状では臓器特有の症状および合併症に伴う症状を理解する。 疾患検査では臓器および疾患特有の検査値を理解する。 疾患の治療法は保存的治療と観血的治療に分けて理解する。 授業時間内に国家試験の過去問の問題演習および解説を行う。</p>		
評価	<p>期末試験の得点で各期末の評価とする。 出席状況、授業態度、小テストなどは年度末の総合評価の時点で加味することがある。</p>		
備考			
参考書等	各自で国家試験の過去問集を購入すること。		

第3学年		科目(一般臨床医学Ⅱ)		担当(青山正洋)		
週	編	章	節	時数	日付	内容
前期	1	主要な疾患	代謝・栄養疾患	1	4月10日	糖尿病の疾患概念
	2	主要な疾患	代謝・栄養疾患	2	4月17日	脂質異常症, 肥満症, メタボリックシンドロームの疾患概念
	3	主要な疾患	代謝・栄養疾患	3	4月24日	高尿酸血症・痛風の疾患概念
	4	主要な疾患	内分泌疾患	4	5月8日	内分泌総論, 内分泌間脳疾患の疾患概念
	5	主要な疾患	内分泌疾患	5	5月15日	内分泌下垂体疾患の疾患概念
	6	主要な疾患	内分泌疾患	6	5月22日	内分泌甲状腺疾患, 内分泌副甲状腺疾患の疾患概念
	7	主要な疾患	内分泌疾患	7	5月29日	内分泌副腎皮質疾患, 内分泌副腎髄質疾患の疾患概念
	8	主要な疾患	内分泌疾患	8	6月5日	内分泌性線疾患の疾患概念とまとめ
	9	主要な疾患	血液・造血器疾患	9	6月12日	血液疾患総論, 赤血球疾患の疾患概念(貧血の各論)
	10	主要な疾患	血液・造血器疾患	10	6月19日	赤血球疾患各論の続き
	11	主要な疾患	血液・造血器疾患	11	6月26日	白血球系疾患の疾患概念(白血球, 悪性リンパ腫の各論)
	12	主要な疾患	血液・造血器疾患	12	7月3日	血小板疾患の疾患概念(特発性血小板減少性紫斑病, 血友病), 多発性骨髄腫の疾患概念
	13	主要な疾患	腎・尿路疾患	13	7月10日	腎臓疾患総論, 急性腎障害, 慢性腎臓病の疾患概念
	14	主要な疾患	腎・尿路疾患	14	7月17日	糸球体疾患, ノフロゼ症候群, 間質性腎炎の疾患概念
	15	主要な疾患	腎・尿路疾患	15	7月24日	尿路感染症, 遺伝性腎疾患, 全身疾患に伴う腎障害の疾患概念
	16	主要な疾患	腎・尿路疾患	16	7月31日	泌尿器科的疾患の疾患概念
	17	主要な疾患	問題演習	17	8月21日	血液・造血器疾患, 腎・尿路疾患に関する問題演習
18		前期末試験		8月28日	前期末試験	
19		解答・解説		9月4日	解答・解説	
20		主要な疾患	神経疾患	20	9月11日	神経疾患総論, 脳血管障害の疾患概念
21		主要な疾患	神経疾患	21	9月25日	脳神経腫瘍性疾患の疾患概念
22		主要な疾患	神経疾患	22	10月2日	脳神経感染性疾患・機能的疾患の疾患概念
23		主要な疾患	神経疾患	23	10月9日	神経変性疾患(認知症, パーキンソン病)の疾患概念
24		主要な疾患	神経疾患	24	10月16日	炎症性神経疾患・神経免疫疾患・筋疾患の疾患概念
25		主要な疾患	感染症	25	10月23日	感染症総論(感染経路と対策)
26		主要な疾患	感染症	26	10月30日	呼吸器感染症, 腸管感染症, 中枢神経系感染症の疾患概念
27		主要な疾患	感染症	27	11月6日	皮膚感染症, 整形外科領域感染症, 性行為感染症, ウイルス感染症(各論)の疾患概念
28		主要な疾患	リウマチ・膠原病・アレルギー	28	11月20日	膠原病総論, 関節リウマチ, 全身性エリテマトーデスの疾患概念
29		主要な疾患	リウマチ・膠原病・アレルギー	29	11月27日	強皮症, 皮膚筋炎, シェーグレン症候群, ベーチエツト病の疾患概念
30		主要な疾患	リウマチ・膠原病・アレルギー	30	12月4日	結節性多発動脈炎, リウマチ性多発筋痛症, リウマチ熱の疾患概念
31		後期末試験		31	12月11日	後期末試験
32		解答・解説		32	12月18日	解答・解説
33		主要な疾患	リウマチ・膠原病・アレルギー	33	1月8日	アレルギー総論, アナフィラキシーショック
34		主要な疾患	環境要因による疾患	34	1月15日	熱中症, 一酸化炭素中毒の疾患概念
35		主要な疾患	総合臨床医学演習	35	1月22日	診断学および臨床疾患に関する総合演習
36		主要な疾患	総合臨床医学演習	36	1月29日	診断学および臨床疾患に関する総合演習
37		主要な疾患	総合臨床医学演習	37	2月5日	診断学および臨床疾患に関する総合演習
38		主要な疾患	総合臨床医学演習	38	2月12日	診断学および臨床疾患に関する総合演習
39		主要な疾患	総合臨床医学演習	39	2月19日	診断学および臨床疾患に関する総合演習
40		主要な疾患	総合臨床医学演習	40	2月26日	診断学および臨床疾患に関する総合演習
合計時数				40	※日程は変更されることがあります。	

講義科目名	運動学	分野区分	専門基礎分野
担当教員名	蓮見 昭洋	講義回数	20回
履修学年	第3学年	履修期間	前期
講義内容	<p>運動学は、人間の運動の仕組みを理解する学問領域である。運動の仕組みを理解するためには、1) 筋骨格系の構造と機能、2) 神経筋系の構造と機能、3) 人体に作用する内力と外力の力学的関係性、4) 運動の評価法が総合的に導入される必要がある。</p> <p>本講義では、解剖学および生理学を基礎として、人間の身体運動に関わる応用的な知識を身につけることを目的とする。</p>		
評価	<p>期末試験の得点で各期末の評価とする。</p> <p>出席状況、授業態度、小テストなどは年度末の総合評価の時点で加味することがある。</p>		
備考			
参考書等	運動学		

第3学年 科目 (運動学)			担当 (蓮見 昭洋)			
週	編	章	節	時数	日付	内容
1		運動の表し方	1、2	1	4月9日	身体運動に関する共通の言葉
2		身体運動と力学(1)	3-A、B	2	4月16日	身体に働く様々な力とてこ
3		身体運動と力学(2)	3-C、D	3	4月23日	身体運動に関する物理量
4		運動器の構造と機能(1)	4-A、B	4	5月7日	骨と関節の構造
5		運動器の構造と機能(2)	4-C、D	5	5月14日	骨格筋の収縮メカニズムと身体運動
6		神経の構造と機能	5-A、B、C	6	5月21日	神経系の構造、末梢神経と中枢神経
7		運動感覚	6	7	5月28日	運動中の感覚情報
8		反射と随意運動	7	8	6月4日	反射と随意運動のメカニズム
9		四肢と体幹の運動(1)	8-A、B、C	9	6月11日	上肢と下肢の運動(1)
10		四肢と体幹の運動(2)	8-D、E、F	10	6月18日	上肢と下肢の運動(2)
11		四肢と体幹の運動(3)	8-G、H、I、J	11	6月25日	体幹、首、胸の運動
12		四肢と体幹の運動(4)	8-K、L	12	7月2日	腰と頭の運動
13		姿勢	9	13	7月9日	姿勢、重心
14		歩行	10	14	7月16日	歩行のメカニズムと発達
15		運動発達	11	15	7月23日	発達のメカニズムと順序
16		運動学習	12	16	7月30日	運動学習のメカニズムとその促進
17				17	8月20日	総合演習
18		後期末試験		18	8月27日	期末試験
19		解答・解説		19	9月3日	解答・解説
20				20	9月10日	総合演習
合計 時数				20	※日程は変更される場合があります。	

前期

講義科目名	柔道整復学Ⅵ	分野区分	専門分野
担当教員名	福田 泰昌	講義回数	20回
履修学年	第3学年	履修期間	後期
講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・授業形態 講義形式(板書・プリント配布など) 問題演習形式 ・授業目的 国家試験に向けた総合的な知識を身につける。 ・授業の内容 年間指導計画表を参考のこと。 		
評価	<p>期末試験の得点で評価する。 出席状況、授業態度、小テストの結果などは年度末の総合評価の時点で加味することがある。</p>		
備考			
参考書等			

第3学年 科目(柔道整復学Ⅵ)

担当(福田 泰昌)

週	編	章	節	時数	日付	内容
21				1	9月24日	総合演習
22				2	10月8日	総合演習
23				3	10月15日	総合演習
24				4	10月22日	総合演習
25				5	10月29日	総合演習
26				6	11月5日	総合演習
27				7	11月12日	総合演習
28				8	11月19日	総合演習
29				9	11月26日	総合演習
30				10	12月3日	総合演習
31				11	12月10日	期末試験
32				12	12月17日	期末試験解答・解説
33				13	1月7日	総合演習
34				14	1月14日	総合演習
35				15	1月21日	総合演習
36				16	1月28日	総合演習
37				17	2月4日	総合演習
38				18	2月11日	総合演習
39				19	2月18日	総合演習
40				20	2月25日	総合演習
				合計	20	※2月11日は祝日ですが、授業日となりますのでご注意ください。 ※日程は変更されることがあります。

後期

合計時数

講義科目名	柔道整復実技Ⅹ	分野区分	専門分野
担当教員名	黒岩 靖史(実務経験有り)	講義回数	40回
履修学年	第3学年	履修期間	通年
講義内容	<p>柔道整復師にとって重要となる触診実技ならびに運動器の徒手検査法実技を中心に行う。また主要な上肢外傷、下肢外傷に対する実技も行う。</p> <p>臨床現場やスポーツ現場では相手の訴えを聞き、そして視診、触診を行うことが基本である。また判断指標の一つである整形外科的な徒手検査法は手技の習熟が必要であり、そのポイントを頭で理解するだけではなく手指の感触として学んでいけるように授業を行い、臨床に従事した際の評価の精度ならびに柔道整復師の業務範囲の是非の判断力を高めることを目標とする。</p>		
評価	<p>筆記試験と実技試験で各期末の評価とする。 出席状況、授業態度、小テストなどは年度末の総合評価の時点で加味することがある。</p>		
備考	<p>白衣は必ず着用し、実技室内へは土足で入室しないこと。 ただし、実技内容によっては脱着しやすい服装を指示することもある。 参考資料を配布するためしっかりとファイリングすること。</p>		
参考書等	<p>参考資料等を配布する。</p> <p>全国柔道整復学校協会監修:柔道整復学(理論編)[南江堂] 全国柔道整復学校協会監修:柔道整復学(実技編)[南江堂] 全国柔道整復学校協会監修:包帯固定学[南江堂] 全国柔道整復学校協会監修:社会保障制度と柔道整復師の職業倫理[医歯薬出版]</p>		

第3学年 科目 (柔道整復実技区)

担当 (黒岩 靖史)

週	編	章	節	時数	日付(I部)	日付(II部)	内容
前期	1			1	4月9日	4月8日	触診法ならびに運動器の徒手検査法
	2			2	4月16日	4月15日	触診法ならびに運動器の徒手検査法
	3			3	4月23日	4月22日	触診法ならびに運動器の徒手検査法
	4			4	5月7日	5月13日	触診法ならびに運動器の徒手検査法
	5			5	5月14日	5月20日	触診法ならびに運動器の徒手検査法
	6			6	5月21日	5月27日	触診法ならびに運動器の徒手検査法
	7			7	5月28日	6月3日	触診法ならびに運動器の徒手検査法
	8			8	6月4日	6月10日	触診法ならびに運動器の徒手検査法
	9			9	6月11日	6月17日	触診法ならびに運動器の徒手検査法
	10			10	6月18日	6月24日	触診法ならびに運動器の徒手検査法
	11			11	6月25日	7月1日	触診法ならびに運動器の徒手検査法
	12			12	7月2日	7月8日	触診法ならびに運動器の徒手検査法
	13			13	7月9日	7月15日	復習
	14			14	7月16日	7月22日	前期末試験(実技①)
	15			15	7月23日	7月29日	前期末試験(実技②)
	16			16	7月30日	8月5日	前期末試験(実技③)
	17			17	8月20日	8月19日	前期末試験(実技④)
	18			18	8月27日	8月26日	前期末試験(筆記)
	19			19	9月3日	9月2日	前期末試験(筆記)解答・解説
後期	20			20	9月10日	9月9日	上肢・下肢外傷実技の整復法・検査法・固定法
	21			21	9月24日	9月23日	上肢・下肢外傷実技の整復法・検査法・固定法
	22			22	10月8日	9月30日	上肢・下肢外傷実技の整復法・検査法・固定法
	23			23	10月15日	10月7日	上肢・下肢外傷実技の整復法・検査法・固定法
	24			24	10月22日	10月21日	上肢・下肢外傷実技の整復法・検査法・固定法
	25			25	10月29日	10月28日	上肢・下肢外傷実技の整復法・検査法・固定法
	26			26	11月5日	11月4日	上肢・下肢外傷実技の整復法・検査法・固定法
	27			27	11月12日	11月11日	総合演習1
	28			28	11月19日	11月18日	総合演習2
	29			29	11月26日	11月25日	総合演習3
	30			30	12月3日	12月2日	総合演習4
	31			31	12月10日	12月9日	後期末試験(筆記)
	32			32	12月17日	12月16日	後期末試験(筆記)解答・解説
	33			33	1月7日	1月6日	総合演習5
	34			34	1月14日	1月20日	総合演習6
	35			35	1月21日	1月27日	総合演習7
	36			36	1月28日	2月3日	総合演習8
	37			37	2月4日	2月10日	総合演習9
	38			38	2月11日	2月17日	総合演習10
	39			39	2月18日	2月24日	総合演習11
	40			40	2月25日	3月3日	総合演習12
合計時数				40			

※7/15・9/23・11/4・2/11・2/24は休日ですが、授業日となりますのでご注意ください。
 ※日程は変更されることがあります。

講義科目名	リハビリテーション医学	分野区分	専門基礎分野
担当教員名	蓮見 昭洋	講義回数	20回
履修学年	第3学年	履修期間	前期
講義内容	<p>医学の進歩に伴い、感染症などの急性疾患は減少し、かつては重症患者で死に至るような患者でもその命を救うことが可能となった。しかしその結果重い障害を残す患者が増加し、また平均寿命の延長による高齢者の増加により、慢性疾患の患者が増加し、リハビリテーション医学に対する需要がますます大きくなってきている。リハビリテーション医学は患者のもつあらゆる障害に対し、総合的に対処していくものであるから、医師だけでなく、理学療法士、作業療法士、柔道整復師、鍼灸師など多くのコ・メディカルとチームで行っていかなければならない。柔道整復師もチーム医療の中で重要な役割を担う専門職であることから、本講義では、リハビリテーション医学の基礎を理解し、施術に必要な理論を習得することを目標とする。</p>		
評価	<p>期末試験の得点で各期末の評価とする。 出席状況、授業態度、小テストなどは年度末の総合評価の時点で加味することがある。</p>		
備考			
参考書等	リハビリテーション医学		

第3学年 科目(リハビリテーション医学) 担当(蓮見 昭洋)

週	編	章	節	時数	日付	内容
1		1	概論	1	4月10日	リハビリテーションの理念と歴史、リハビリテーションの対象と障害者の実態
2		2	概論、評価と診断	2	4月17日	障害の階層とアプローチ、ADLの評価
3		3	評価と診断	3	4月24日	心理的評価、認知症の評価、電気生理学的検査
4		4	評価と診断、基礎医学	4	5月8日	画像診断、運動失調
5		5	基礎医学	5	5月15日	障害の評価、拘縮、関節変形、麻痺、痙縮、嚥下摂食障害、高次脳機能障害
6		6	基礎医学	6	5月22日	治療学(リンパ浮腫、筋力強化、中枢性麻痺と痙縮、慢性疼痛など)
7		7	基礎医学	7	5月29日	歩行練習、リハビリにおける位置づけ
8		8	関連職種	8	6月5日	医師、看護師、言語聴覚療法、臨床検査技師、義肢装具士など
9		9	治療技術	9	6月12日	理学療法、作業療法
10		10	治療技術	10	6月19日	補装具、自具
11		11	実際	11	6月26日	脳卒中のリハビリテーション、急性期、回復期、維持期、脳性麻痺
12		12	実際	12	7月3日	パーキンソン病のリハビリテーション
13		13	高齢者	13	7月10日	フレイル、ロコモティブシンドロームなど
14		14	高齢者	14	7月17日	高齢者の自立支援、ポジョニングなど
15		15	高齢者	15	7月24日	機能訓練指導員
16		16	リハビリテーションと福祉	16	7月31日	機能訓練指導員の知識
17		17	総合問題演習	17	8月21日	総合問題演習
18		18	前期末試験	18	8月28日	前期末試験
19		19	解答・解説	19	9月4日	解答・解説
20		20	まとめ	20	9月11日	まとめ
合計時数				20	※日程は変更されることがあります。	

講義科目名	演習Ⅳ	分野区分	応用分野
担当教員名	蓮見 昭洋	講義回数	28回
履修学年	第3学年	履修期間	後期
講義内容	柔道整復師として必要な総合的な知識を身に付ける。		
評価	<p>期末試験が各期末の評価となる。</p> <p>出席状況、授業態度、小テストなどは年度末の総合評価の時点で加味することがある。</p>		
備考			
参考書等			

第3学年		科目(演習Ⅳ)		担当(蓮見 昭洋)	
編	章	節	回数	日付	内容
21			1	9月25日	総合演習
22			2	10月2日	総合演習
23			3	10月9日	総合演習
24			4	10月16日	総合演習
25			5	10月23日	総合演習
26			6	10月30日	総合演習
27			7	11月6日	総合演習
28			8	11月20日	総合演習
29			9	11月27日	総合演習
30			10	12月4日	総合演習
31			11	12月11日	期末試験
32			12	12月18日	解答解説
33			13	1月8日	総合演習
34			14	1月15日	総合演習
35			15	1月22日	総合演習
36			16	1月29日	総合演習
37			17	2月5日	総合演習
38			18	2月12日	総合演習
39			19	2月19日	総合演習
40			20	2月26日	総合演習
			21	5月1日	解剖実習
			22	5月1日	解剖実習
			23	6月2日	就職ガイダンス
			24	6月2日	就職ガイダンス
			25		職場見学実習
			26		職場見学実習
			27		職場見学実習
			28		業界説明会
後期			合計回数	20	※日程は変更される場合があります。

講義科目名	柔道	分野区分	専門基礎分野
担当教員名	斉藤 文教	講義回数	20回
履修学年	第3学年	履修期間	前期
講義内容	<p>柔道の基本である礼法を再認識させ、他人を思いやる精神を育む。また受け身、技の説明、形、約束稽古を行い、乱取り稽古へと進み相手の力を利用した技を習得する。柔道Ⅰでは前さばき、後ろさばき、継ぎ足等を身につけ、動きながら技がだせるようにする。また、攻撃に対する防御も身につけ初段と同等の実力を習得する。</p>		
評価	<p>出席状況、授業態度などは年度末の総合評価の時点で加味することがある。</p>		
備考			
参考書等			

第3学年 科目(柔道)

担当(斉藤文教)

週	編	節	時数	日付(I部)	日付(II部)	内容
5			1	6月5日	6月4日	準備体操、柔軟体操 受け身 打ち込み、投げ込み 形
6			2	6月12日	6月11日	準備体操、柔軟体操 受け身 打ち込み、投げ込み 形
7			3	6月19日	6月18日	準備体操、柔軟体操 受け身 打ち込み、投げ込み 形
8			4	6月26日	6月25日	準備体操、柔軟体操 受け身 打ち込み、投げ込み 形
9			5	7月3日	7月2日	準備体操、柔軟体操 受け身 打ち込み、投げ込み 寝技
10			6	7月10日	7月9日	準備体操、柔軟体操 受け身 打ち込み、投げ込み 寝技
11			7	7月17日	7月16日	準備体操、柔軟体操 受け身 打ち込み、投げ込み 寝技
12			8	7月24日	7月23日	準備体操、柔軟体操 受け身 打ち込み、投げ込み 寝技
13			9	7月31日	7月30日	準備体操、柔軟体操 受け身 打ち込み、投げ込み 乱取り
14			10	8月21日	8月20日	準備体操、柔軟体操 受け身 打ち込み、投げ込み 乱取り
15			11	8月28日	8月27日	前期末試験
16			12	9月4日	9月3日	解答・解説
17			13	9月11日	9月10日	準備体操、柔軟体操 受け身 打ち込み、投げ込み 形 乱取り
18			14	9月25日	9月24日	準備体操、柔軟体操 受け身 打ち込み、投げ込み 形 乱取り
19			15	10月2日	10月8日	準備体操、柔軟体操 受け身 打ち込み、投げ込み 形 乱取り
20			16	10月9日	10月15日	準備体操、柔軟体操 受け身 打ち込み、投げ込み 形 乱取り
21			17	10月16日	10月22日	準備体操、柔軟体操 受け身 打ち込み、投げ込み 形 乱取り
22			18	10月23日	10月29日	準備体操、柔軟体操 受け身 打ち込み、投げ込み 形 乱取り
23			19	10月30日	11月5日	準備体操、柔軟体操 受け身 打ち込み、投げ込み 形 乱取り
24			20	11月6日	11月12日	準備体操、柔軟体操 受け身 打ち込み、投げ込み 形 乱取り
合計 時数			20	※日程は変更されることがあります。		

前期

講義科目名	関係法規	分野区分	専門基礎分野
担当教員名	斉藤 文教	講義回数	20 回
履修学年	第 3 学 年	履修期間	後 期
講義内容	<p>柔道整復師法と関連する関係法規を学ぶことにより法的知識と医療倫理を習得し、柔道整復師としての法的立場を理解し、施術にたいしての責任と自覚を持つことを目的とする。</p>		
評 価	<p>期末試験の得点(前期末試験と後期末試験の平均値)を評価とする。 出席状況、授業態度、小テストなどは年度末の総合評価の時点で加味することがある。</p>		
備 考	<p>前期末試験と後期末試験があります。</p>		
参考書等	<p>関係法規</p>		

担当 (齊藤 文教)

第 3 学 年 科 目 (関係法規)

週	編	節	時 数	日付(Ⅰ部)	日付(Ⅱ部)	内 容
1	第1章総則	1～4節 第1章1～2節	1	4月10日	4月9日	法の意義 不文法、成文法 公法と私法 柔道整復師と患者の権利
2	第2章 免許	1～4節	2	4月17日	4月16日	柔道整復師法の目的、定義 柔道整復師免許 欠格事由、免許の申請
3	第2章 免許	5～9節	3	4月24日	4月23日	免許の取り消し 免許証、免許証明書 書き換え、再交付、免許証の返納
4	第2章免許 第3章試験	第2章10節 第3章1～2節	4	5月8日	5月7日	行政処分 試験の実施、受験資格 不正行為者、試験科目、合格証書
25	第4章 業務	1～5節	5	5月15日	5月14日	業務の禁止、業務範囲 診療放射線、守秘義務 都道府県知事の指示 厚生労働大臣の事務執行
26	第5章 施術所	1～3節	6	5月22日	5月21日	施術所の届け出、構造設備、施術所に対する監督
27	第6章 雑則 第7章 罰則	第6章1～2節 第7章1～3節	7	5月29日	5月28日	広告の制限 名称の制限 経過措置 罪刑法定主義 罰則 両罰規定
28	第8、9章 登録機関、附則	第8章1～2節 第9章1～2節	8	11月20日	11月19日	登録事務、守秘義務、免許の特例、受験資格の特例
29	関係法規	第1～4	9	11月27日	11月26日	医師法、歯科医師法、保健師助産師看護婦法 診療放射線技師法
30	後期	第5～8	10	12月4日	12月3日	臨床検査技師法、理学療法士法、作業療法士法、視能訓練士法 言語聴覚士法
31	後期末試験		11	12月11日	12月10日	後期末試験
32	解答・解説		12	12月18日	12月17日	解答・解説
33		第9～14	13	1月8日	1月7日	臨床工学技師法、義肢装具士法、救急救命士法、歯科衛生士法、歯科技工士法 薬剤師法
34	医療法		14	1月15日	1月14日	目的 医療提供の理念 病院、診療所の定義、地域医療支援病院、特定機能病院 情報の提供
35			15	1月22日	1月21日	医療安全支援センター 病院、診療所の開設 嘱託医師 開設許可の取り消し
36	社会福祉関係法規		16	1月29日	1月28日	生活保護法、児童福祉法、身体障害者福祉法、障害者自立支援法
37	社会保険関係法規		17	2月5日	2月4日	健康保険法
38			18	2月12日	2月11日	介護保険法 個人情報保護法
39	総合演習		19	2月19日	2月18日	復習
40	総合演習		20	2月26日	2月25日	復習
合 計 時 数			20	※2月11日は祝日ですが、授業日となりますのでご注意ください。 ※日程は変更されることがあります。		

講義科目名	整形外科学	分野区分	専門基礎分野
担当教員名	中島 一郎	講義回数	40 回
履修学年	第 3 学 年 (I 部)	履修期間	通 年
講義内容	<p>今後柔道整復師にとって基本となる整形外科について身体所見の取り方や検査法および診断法から学び、関節リウマチなどの炎症性疾患、骨軟部腫瘍および骨系統疾患等の疾患別各論について学ぶ。また各部位(頸椎から足趾まで)の機能解剖から学びその部位の外傷性疾患および変性疾患について学ぶ。また実際の臨床の場でよく遭遇する症例についても紹介していく。授業は教科書のポイントをまとめプリントとして毎回配布予定です。</p>		
評 価	<p>期末試験の得点で各期末の評価とする。 出席状況、授業態度、小テストなどは年度末の総合評価の時点で加味することがある。</p>		
備 考			
参考書等			

第3学年 科目(整形外科学)

担当(中島一郎)

週	編	章	節	時数	日付	内容
						整形外科学についておよび運動器の基礎知識(骨、関節、筋、靭帯など)について
1		整形外科とは	運動器の基礎知識	1	4月18日	診察法(姿勢の見方、上下肢長の測定方法、反射の取り方など)について
2		整形外科診察法	姿勢、上下肢長・周径など	2		
3		整形外科検査法1	レントゲン、CTなど	3	5月9日	検査の進め方およびレントゲン、CT、MRIなどの基礎知識について
4		整形外科検査法2	電気生理学検査など	4		
5		整形外科治療法1	保存療法	5	5月23日	電気生理学検査(筋電図、神経伝導速度検査)、関節鏡などについて
6		整形外科治療法2	観血的治療	6		
7		骨・関節損傷総論1	骨折総論など	7	6月6日	整形外科治療法の保存的治療(薬物治療、徒手整復法、ギプス固定法など)について
8		骨・関節損傷総論2	関節の損傷	8		整形外科治療法の観血的治療(皮膚の手術、関節の手術、腱の手術など)について
9		スポーツ整形外科概論	スポーツ整形外科	9	6月20日	骨折の定義、分類、骨折の治癒過程、骨折の治療法などについて
10		リハビリテーション	リハビリテーション総論	10		開放性骨折の分類、関節損傷および外傷性脱臼について
11		疾患別各論1	化膿性疾患	11	7月4日	スポーツ整形外科の位置づけなどについて
12		疾患別各論2	骨腫瘍、軟部腫瘍など	12		各疾患に対してのリハビリテーション本について
13		疾患別各論3	関節リウマチなど	13	7月18日	急性化膿性骨髄炎、慢性化膿性骨髄炎などについて
14		疾患別各論4	その他の関節炎など	14		悪性、良性骨、軟部腫瘍について
15		疾患別各論5	先天性骨系統疾患	15	8月1日	関節リウマチの病態、診断、治療および痛風などについて
16		疾患別各論6	骨端症1	16		その他の関節炎(強直性脊椎炎、シヤルコー関節など)について
17		前期末試験		17	8月29日	軟骨無形成症等の先天性骨系統疾患について
18		解答・解説		18		骨端症の原因および種類について
19		疾患別各論7	骨端症2	19	9月12日	前期末試験
20		疾患別各論8	四肢循環障害	20		試験解説
21		疾患別各論9	神経・筋疾患1	21	9月26日	骨端症の各論について(ペルテス病、キーンベック病など)
22		疾患別各論10	神経・筋疾患2	22		閉塞性動脈硬化症等の四肢循環障害について
23		疾患別各論11	神経・筋疾患3	23	10月10日	上肢の神経麻痺と絞扼性神経障害
24		身体部位別各論1	頸部	24		下肢の神経麻痺と絞扼性神経障害、腕神経叢麻痺について
25		身体部位別各論2	胸部	25	10月24日	全身性神経・筋疾患について
26		身体部位別各論3	腰部1	26		頸部の機能解剖および疾患(頸椎症など)について
27		身体部位別各論4	腰部2	27	11月7日	胸部の機能解剖および疾患(側弯症など)について
28		身体部位別各論5	肩甲帯および上肢の疾患1	28		腰部の機能解剖および疾患(腰椎脱臼骨折など)について
29		身体部位別各論6	肩甲帯および上肢の疾患2	29	11月28日	腰部の疾患(腰椎椎間板ヘルニアなど)について
30		身体部位別各論7	肩甲帯および上肢の疾患3	30		肩関節および肩甲帯の機能解剖および疾患(骨折)について
31		後期末試験		31	12月12日	肩関節および肩甲帯の機能解剖および疾患(肩関節周囲炎など)について
32		解答・解説		32		上腕・肘関節の機能解剖および骨折の手術について
33		身体部位別各論8	肩甲帯および上肢の疾患4	33	1月9日	前腕の機能解剖および骨折の手術などについて
34		身体部位別各論9	肩甲帯および上肢の疾患5	34		手関節の機能解剖および骨折の手術などについて
35		身体部位別各論10	肩甲帯および上肢の疾患6	35	1月23日	手・手指の機能解剖および骨折などについて
36		身体部位別各論11	肩甲帯および上肢の疾患7	36		骨盤・股関節の機能解剖および骨折などについて
37		身体部位別各論12	骨盤および下肢の疾患1	37	2月6日	大腿・膝関節の機能解剖および骨折などについて
38		身体部位別各論13	骨盤および下肢の疾患2	38		下腿・足関節の機能解剖および骨折などについて
39		身体部位別各論14	骨盤および下肢の疾患3	39	2月20日	足・足趾の骨折などについて
40		身体部位別各論15	骨盤および下肢の疾患4	40		足・足趾の骨折などについて
合計時数				40	※日程は変更されることがあります。	

講義科目名	整形外科学	分野区分	専門基礎分野
担当教員名	大倉 千幸	講義回数	40回
履修学年	第3学年(Ⅱ部)	履修期間	通年
講義内容	<p>今後柔道整復師にとって基本となる整形外科について身体所見の取り方や検査法および診断法から学び、関節リウマチなどの炎症性疾患、骨軟部腫瘍および骨系統疾患等の疾患別各論について学ぶ。また各部位(頸椎から足趾まで)の機能解剖から学びその部位の外傷性疾患および変性疾患について学ぶ。また実際の臨床の場でよく遭遇する症例についても紹介していく。授業は教科書のポイントをまとめプリントとして毎回配布予定です。</p>		
評価	<p>期末試験の得点で各期末の評価とする。 出席状況、授業態度、小テストなどは年度末の総合評価の時点で加味することがある。</p>		
備考			
参考書等			

第3学年 科目(整形外科学)

担当(大倉千幸)

週	編	章	節	時数	日付	内容
前期	1	整形外科とは	運動器の基礎知識	1	4月11日	整形外科学についておよび運動器の基礎知識(骨、関節、筋、靭帯など)について
	2	整形外科診察法	姿勢、上下肢長・周径など	2	4月18日	診察法(姿勢の見方、上下肢長の測定方法、反射の取り方など)について
	3	整形外科検査法1	レントゲン、CTなど	3	4月25日	検査の進め方およびレントゲン、CT、MRIなどの基礎知識について
	4	整形外科検査法2	電気生理学検査など	4	5月9日	電気生理学検査(筋電図、神経伝導速度検査)、関節鏡などについて
	5	整形外科治療法1	保存療法	5	5月16日	整形外科治療法の保存的治療(薬物治療、徒手整復法、ギプス固定法など)について
	6	整形外科治療法2	観血的治療	6	5月23日	整形外科治療法の観血的治療(皮膚の手術、関節の手術、腱の手術など)について
	7	骨・関節損傷総論1	骨折総論など	7	5月30日	骨折の定義、分類、骨折の治癒過程、骨折の治療法などについて
	8	骨・関節損傷総論2	関節の損傷	8	6月6日	開放性骨折の分類、関節損傷および外傷性脱臼について
	9	スポーツ整形外科概論	スポーツ整形外科	9	6月13日	スポーツ整形外科の位置づけなどについて
	10	リハビリテーション	リハビリテーション総論	10	6月20日	各疾患に対してのリハビリテーション本について
	11	疾患別各論1	化膿性疾患	11	6月27日	急性化膿性骨髄炎、慢性化膿性骨髄炎などについて
	12	疾患別各論2	骨腫瘍、軟部腫瘍など	12	7月4日	悪性、良性骨、軟部腫瘍について
	13	疾患別各論3	関節リウマチなど	13	7月11日	関節リウマチの病態、診断、治療および痛風などについて
	14	疾患別各論4	その他の関節炎など	14	7月18日	その他の関節炎(強直性脊椎炎、シヤルコー関節など)について
	15	疾患別各論5	先天性骨系統疾患	15	7月25日	軟骨無形成症等の先天性骨系統疾患について
	16	疾患別各論6	骨端症1	16	8月1日	骨端症の原因および種類について
	17	疾患別各論7	骨端症2	17	8月22日	骨端症の各論について(ペルテス病、キーンベック病など)
18	前期末試験		18	8月29日	前期末試験	
19	解答・解説		19	9月5日	試験解説	
20	疾患別各論8	四肢循環障害	20	9月12日	閉塞性動脈硬化症等の四肢循環障害について	
21	疾患別各論9	神経・筋疾患1	21	9月26日	上肢の神経麻痺と絞扼性神経障害	
22	疾患別各論10	神経・筋疾患2	22	10月3日	下肢の神経麻痺と絞扼性神経障害、腕神経叢麻痺について	
23	疾患別各論11	神経・筋疾患3	23	10月10日	全身性神経・筋疾患について	
24	身体部位別各論1	頸部	24	10月17日	頸部の機能解剖および疾患(頸椎症など)について	
25	身体部位別各論2	胸部	25	10月24日	胸部の機能解剖および疾患(側弯症など)について	
26	身体部位別各論3	腰部1	26	10月31日	腰部の機能解剖および疾患(腰椎脱臼骨折など)について	
27	身体部位別各論4	腰部2	27	11月7日	腰部の疾患(腰椎椎間板ヘルニアなど)について	
28	身体部位別各論5	肩甲帯および上肢の疾患1	28	11月21日	肩関節および肩甲帯の機能解剖および疾患(骨折)について	
29	身体部位別各論6	肩甲帯および上肢の疾患2	29	11月28日	肩関節および肩甲帯の機能解剖および疾患(肩関節周囲炎など)について	
30	身体部位別各論7	肩甲帯および上肢の疾患3	30	12月5日	上腕・肘関節の機能解剖および骨折の手術について	
31	後期末試験		31	12月12日	後期末試験	
32	解答・解説		32	12月19日	解答・解説	
33	身体部位別各論8	肩甲帯および上肢の疾患4	33	1月9日	上腕・肘関節の骨軟骨障害および靭帯損傷などについて	
34	身体部位別各論9	肩甲帯および上肢の疾患5	34	1月16日	前腕の機能解剖および骨折の手術などについて	
35	身体部位別各論10	肩甲帯および上肢の疾患6	35	1月23日	手関節の機能解剖および骨折の手術などについて	
36	身体部位別各論11	肩甲帯および上肢の疾患7	36	1月30日	手・手指の機能解剖および骨折などについて	
37	身体部位別各論12	骨盤および下肢の疾患1	37	2月6日	骨盤・股関節の機能解剖および骨折などについて	
38	身体部位別各論13	骨盤および下肢の疾患2	38	2月13日	大腿・膝関節の機能解剖および骨折などについて	
39	身体部位別各論14	骨盤および下肢の疾患3	39	2月20日	下腿・足関節の機能解剖および骨折などについて	
40	身体部位別各論15	骨盤および下肢の疾患4	40	2月27日	足・足趾の骨折などについて	

※日程は変更されることがあります。

合計時数

40

講義科目名	外科学概論	分野区分	専門基礎分野
担当教員名	松本 浩	講義回数	20 回
履修学年	第 3 学 年 (I 部)	履修期間	前 期
講義内容	<p>南江堂外科学概論(改定第4版)の教科書に沿って、総論的事項を学んでいきます。解剖学、生理学、病理学概論の復習も各事項のオーバーラップする内容については取り入れていきます。内容的には多くなりますが復習的事項は思い出してもらえればと思います。各講義では講義プリントと理解についての確認問題を配布する予定です。知識も大切ですがイメージでの理解ができればと考えます。手術的事項については実際の手術器具を用いて体感してもらおう予定です。各論については代表的疾患の解説を行います。</p>		
評 価	<p>期末試験の得点で各期末の評価とする。 出席状況、授業態度、小テストなどは年度末の総合評価の時点で加味することがある。</p>		
備 考			
参考書等	外科学概論改定第4版 南江堂 解剖学改定第2版 南江堂 生理学改定第3、4版 南江堂 病理学概論改定第3版 南江堂 系統看護学講座 医学書院	標準外科学 医学書院 国民衛生の動向2021-2022 ステップアップ解剖生理学ノート 他 今回の講義資料の参考にしました	

第3学年 科目(外科学概論)

担当(松本浩)

週	編	章	節	時数	日付	内容
1		外科学とは・損傷	外科学概論・損傷	1	4月11日	損傷分類、熱傷分類と治癒過程、対処法
2		炎症と外科感染症1	炎症分類・治療・感染症概論	2	4月11日	炎症の分類と治癒過程、微生物学と感染
3		外科感染症2、腫瘍1	感染症、腫瘍の分類	3	4月25日	代表的感染症(続き)、腫瘍の発生と分類
4		腫瘍2	腫瘍の診断・治療	4	4月25日	腫瘍の発生と分類、診断方法 治療
5		シヨック	シヨックの分類と対応	5	5月16日	シヨック分類と対治療処法
6		輸血・輸液	輸血・輸液の基礎知識	6	5月16日	血液の造血/生理の確認、輸血の目的・副作用、輸液の分類
7		消毒と滅菌	消毒と滅菌	7	5月30日	消毒、滅菌の適応、消毒薬の種類
8		手術	手術の分類と手術法	8	5月30日	手術分類と結紮・縫合の実際(一部実習)
9		麻酔	麻酔の概要・各種麻酔法	9	6月13日	麻酔目的と流れ、各種薬剤の説明
10		移植と免疫	移植用語・関係法規・移植臓器・免疫	10	6月13日	免疫事項の確認、再生・移植医療について
11		出血と止血	外出血・内出血・止血	11	6月27日	出血・止血の実際と血液止血機構の確認
12		心肺蘇生法	倒れた人の対処法、実際	12	6月27日	心肺蘇生法の手順と実際
13		脳神経外科疾患	解剖・生理・疾患・検査・治療	13	7月11日	頭部解剖の整理、頭部外傷、意識状態、治療など
14		甲状腺・頸部・乳腺	解剖・生理・疾患・検査・治療	14	7月11日	甲状腺機能亢進/低下、頸部リンパ節、乳腺良性・悪性疾患
15		心臓・脈管疾患	解剖・生理・疾患・検査・治療	15	7月25日	虚血性心疾患・弁膜症・動脈瘤・動脈硬化性疾患
16		胸壁・呼吸器疾患	解剖・生理・疾患・検査・治療	16	7月25日	呼吸器疾患、胸部外傷(肋骨骨折、気胸、血胸)
17		腹部外科疾患	解剖・生理・疾患・検査・疾患1	17	8月22日	消化管および実質臓器の解剖整理と検査等
18		腹部外科疾患	腹部外科疾患2	18	8月22日	外傷、食道胃大腸肛門、肝胆膵疾患について
19		前期末試験		19	9月5日	前期末試験
20		解答・解説		20	9月5日	解答・解説
前期				合計時数	20	※日程は変更されることがあります。

講義科目名	外科学概論	分野区分	専門基礎分野
担当教員名	大倉 千幸	講義回数	20回
履修学年	第3学年(Ⅱ部)	履修期間	前期
講義内容	<p>外科学の基本的な事項から勉強し、麻酔や移植等についての知識も習得する。また各論では各臓器の解剖学や生理について学び、さらに実際の疾患の病態および治療法について学ぶ予定です。また教科書のポイントとなるところや解りにくいところを解説したプリントを毎回配布する予定です。</p>		
評価	<p>期末試験の得点で各期末の評価とする。 出席状況、授業態度、小テストなどは年度末の総合評価の時点で加味することがある。</p>		
備考			
参考書等			

第3学年 科目(外科学概論)

担当(大倉 千幸)

週	編	章	節	時数	日付	内容
1		外科学とは・創傷	外科学概論・損傷・創傷の処置、治療過程	1	4月12日	外科学概論および損傷について、創傷の処置法や治療過程など
2		熱傷・炎症と外科感染症1	熱傷の分類、全身管理、炎症の定義、外科感染症1	2	4月19日	熱傷の分類、重症度判定および全身管理、炎症の定義、感染症のメカニズムおよび外科感染症について
3		炎症と外科感染症2・腫瘍1	外科感染症2・概念、分類	3	4月26日	外科感染症(各論 骨髄炎、破傷風、ガス壊疽など)、腫瘍の分類、組織形態などについて
4		腫瘍2・シヨック	腫瘍の検査、診断・シヨックの分類	4	5月10日	腫瘍に対する検査法および治療法、シヨックの分類およびシヨックに対する治療法について
5		輸血・輸液	輸血、輸液の基礎知識	5	5月17日	輸血に対する基礎知識や実際、輸液に対する基礎知識や高カロリー輸液について
6		消毒と滅菌・手術	主な消毒液・手術の準備	6	5月24日	消毒液の種類や滅菌法、手術の準備方法や各種手術について
7		麻酔	麻酔の概要・各種麻酔法	7	5月31日	麻酔の概要や各種麻酔法について
8		移植と免疫	移植用語	8	6月7日	移植の用語および各臓器の移植法について
9		出血と止血	出血とは・外出血、内出血	9	6月14日	出血の種類や分類、出血を起こす疾患等について
10		脳神経外科疾患	頭部の構造、主な神経疾患	10	6月21日	頭部の構造および解剖学的基礎知識、脳神経外科疾患の各論について
11			甲状腺疾患、正常構造と機能	11	6月28日	甲状腺疾患および胸壁・呼吸器の解剖および検査について
12			肺疾患・胸部損傷	12	7月5日	肺疾患の各論(腫瘍など)、胸部損傷の各論(骨折や気胸など)について
13		心臓・脈管疾患	心臓・血管病変	13	7月12日	心臓弁膜症、虚血性心疾患、動脈瘤などについて
14		乳腺疾患	解剖・良性、悪性疾患	14	7月19日	乳腺の解剖および乳腺疾患の検査法、乳腺の炎症性疾患および腫瘍性疾患について
15		腹部外科疾患	消化管の解剖と生理・腹部外科疾患の主な症状	15	7月26日	消化管の解剖と生理、腹痛、下痢などについて
16		腹部外科疾患	腹部疾患の主な検査法	16	8月2日	消化管疾患に対する検査法(レントゲン、内視鏡他)について
17		腹部外科疾患	代表的腹部外科疾患	17	8月23日	代表的腹部外科疾患(食道、胃、大腸)について
18		前期末試験		18	8月30日	前期末試験
19		解答・解説		19	9月6日	解答・解説
20		腹部外科疾患	代表的腹部外科疾患	20	9月13日	代表的腹部外科疾患(肝・胆・膵)などについて
合計時数				20	※日程は変更されることがあります。	

前期

講義科目名	臨床実習Ⅲ	分野区分	専門分野
担当教員名	福田 泰昌(実務経験有り)	講義回数	20回 他
履修学年	第 3 学 年	履修期間	後期
講義内容	<ul style="list-style-type: none"> ・柔道整復師として臨床の場で必要とされる固定に関する知識などについて学ぶ。 ・日常で比較的遭遇する機会が多い外傷について、正しい対応が取れるようになることを目標とする。 		
評 価	<p>期末試験の得点で評価する。 (状況にもよるが)5月～8月に職場見学実習に行くことを必須とする。 出席状況、授業態度、小テストの結果などは年度末の総合評価の時点で加味することがある。</p>		
備 考	<p>都度レポートの提出を必要とする。詳細については後日説明を行う。</p>		
参考書等			

第3学年 科目(臨床実習Ⅲ)

担当(福田 泰昌)

週	編	節	時数	日付(Ⅰ部)	日付(Ⅱ部)	内容
			1	10月3日	9月26日	柔道整復師に必要な固定に関する知識およびその実践など、およびその他
			2		10月3日	柔道整復師に必要な固定に関する知識およびその実践など、およびその他
			3	10月17日	10月10日	柔道整復師に必要な固定に関する知識およびその実践など、およびその他
			4		10月17日	柔道整復師に必要な固定に関する知識およびその実践など、およびその他
			5	10月31日	10月24日	柔道整復師に必要な固定に関する知識およびその実践など、およびその他
			6		10月31日	柔道整復師に必要な固定に関する知識およびその実践など、およびその他
			7	11月21日	11月7日	柔道整復師に必要な固定に関する知識およびその実践など、およびその他
			8		11月21日	柔道整復師に必要な固定に関する知識およびその実践など、およびその他
			9	12月5日	11月28日	柔道整復師に必要な固定に関する知識およびその実践など、およびその他
			10		12月5日	柔道整復師に必要な固定に関する知識およびその実践など、およびその他
			11	12月19日	12月12日	後期末試験
			12		12月19日	後期末試験
			13	1月16日	1月9日	柔道整復師に必要な固定に関する知識およびその実践など、およびその他
			14		1月16日	柔道整復師に必要な固定に関する知識およびその実践など、およびその他
			15	1月30日	1月23日	柔道整復師に必要な固定に関する知識およびその実践など、およびその他
			16		1月30日	柔道整復師に必要な固定に関する知識およびその実践など、およびその他
			17	2月13日	2月6日	柔道整復師に必要な固定に関する知識およびその実践など、およびその他
			18		2月13日	柔道整復師に必要な固定に関する知識およびその実践など、およびその他
			19	2月27日	2月20日	柔道整復師に必要な固定に関する知識およびその実践など、およびその他
			20		2月27日	柔道整復師に必要な固定に関する知識およびその実践など、およびその他
			21	10月1日	10月1日	運動実技
			22	10月1日	10月1日	運動実技
			23	10月1日	10月1日	運動実技
			24	10月1日	10月1日	運動実技
			25	10月1日	10月1日	運動実技
			26	10月1日	10月1日	運動実技
			27	10月1日	10月1日	運動実技
			28	10月26日	10月26日	認定実技審査①(プレリハール)
			29	10月26日	10月26日	認定実技審査①(プレリハール)
			30	10月26日	10月26日	認定実技審査①(プレリハール)
			31	10月26日	10月26日	認定実技審査①(プレリハール)
			32	10月26日	10月26日	認定実技審査①(プレリハール)
			33	10月26日	10月26日	認定実技審査①(プレリハール)
			34	11月3日	10月26日	認定実技審査①(プレリハール)
			35	11月3日	11月3日	認定実技審査②(リハール)
			36	11月3日	11月3日	認定実技審査②(リハール)
			37	11月3日	11月3日	認定実技審査②(リハール)
			38	11月3日	11月3日	認定実技審査②(リハール)
			39	11月3日	11月3日	認定実技審査②(リハール)
			40	11月10日	11月10日	認定実技審査③
			41	11月10日	11月10日	認定実技審査③
			42	11月10日	11月10日	認定実技審査③
			43	11月10日	11月10日	認定実技審査③
			44	11月10日	11月10日	認定実技審査③
			45	11月10日	11月10日	認定実技審査③
			46	11月10日	11月10日	認定実技審査③
合計			46			※日程は変更されることがあります。

講義科目名	衛生学・公衆衛生学	分野区分	専門基礎分野
担当教員名	白石 友子	講義回数	40 回
履修学年	第 3 学 年	履修期間	通 年
講義内容	<p>衛生学・公衆衛生学とは、医学、保健学、行政、環境、経済、健康教育などの観点から人々の心身の健康促進維持を図る実践的学問である。</p> <p>その意義、役割は年々多岐にわたり、重要視されている。</p> <p>授業では、衛生学・公衆衛生学における基礎的な知識や、統計を読み取る力などを身につけ、さらには医療人としていかに人々の健康増進に寄与していくべきかを考える。</p> <p>日常生活においても、各種関連情報に常に敏感に注目していきたい。</p>		
評 価	<p>期末試験の得点で各期末の評価とする。</p> <p>出席状況、授業態度、小テストなどは年度末の総合評価の時点で加味することがある。</p>		
備 考			
参 考 書 等	配布プリントを中心とした授業と問題演習		

第3学年 科目(衛生学・公衆衛生学) 担当 (白石 友子)

週	編	章	節	時数	日付	内容
1		第1章		1	4月12日	衛生学・公衆衛生学の歴史と公衆衛生活動
2		第2章		2	4月19日	健康の概念
3		第3章		3	4月26日	疾病予防と健康管理①
4		第4章		4	5月10日	疾病予防と健康管理②
5				5	5月17日	感染症の予防①
6				6	5月24日	感染症の予防②
7				7	5月31日	感染症の予防③
8		第5章		8	6月7日	消毒①
9				9	6月14日	消毒②
10		第6章		10	6月21日	環境保健①
11				11	6月28日	環境保健②
12				12	7月5日	環境保健③
13		第7章		13	7月12日	生活環境・食品衛生活動①
14				14	7月19日	生活環境・食品衛生活動②
15		第8章		15	7月26日	母子保健①
16				16	8月2日	母子保健②
17				17	8月23日	問題演習
18		前期末試験		18	8月30日	前期末試験
19		解答・解説		19	9月6日	解答・解説
20				20	9月13日	前期総括
21		第9章		21	9月27日	学校保健①
22				22	10月4日	学校保健②
23		第10章		23	10月11日	産業保健①
24				24	10月18日	産業保健②
25		第11章		25	10月25日	成人・高齢者保健①
26				26	11月1日	成人・高齢者保健②
27		第12章		27	11月8日	精神保健①
28				28	11月22日	精神保健②
29		第13章		29	11月29日	地域保険と国際保健
30		第14章		30	12月6日	衛生行政と保健医療の制度
31		後期末試験		31	12月13日	後期末試験
32		解答・解説		32	12月20日	解答・解説
33		第15章		33	1月10日	医療の倫理と安全の確保
34		第16章		34	1月17日	疫学
35				35	1月24日	問題演習
36				36	1月31日	第1章～第8章まとめ
37				37	2月7日	題9章～第16章まとめ
38				38	2月14日	問題演習
39				39	2月21日	問題演習
40				40	2月28日	総括
				合計時数	40	※日程は変更されることがあります。

前期

後期

※日程は変更されることがあります。

講義科目名	柔道整復実技Ⅶ	分野区分	専門分野
担当教員名	金子 充夫(実務経験有り)	講義回数	40回
履修学年	第3学年	履修期間	通年
講義内容	<p>【授業の方法】 教室、実技室での講義、実習</p> <p>【授業概要】 <上肢、体幹、下肢認定実技> 認定実技審査に準じた整復法、固定法、包帯法、検査法を学習する。 認定実技審査の模擬面接</p> <p><総合演習> 要点、まとめの学習。練習問題等を行う。</p> <p>【授業目標】 <上肢、体幹、下肢の認定実技> 上肢、体幹の認定実技審査に準じた整復法、固定法、包帯法、検査法が出来る。</p> <p><総合演習> 基礎を理解し、応用問題に対応できる。</p> <p>【授業内容】 <上肢、体幹認定実技:診察検査および整復> 定型的鎖骨骨折、上腕骨外科頸外転型骨折、コーレス骨折、肩鎖関節脱臼 肩関節烏口下脱臼、肘関節後方脱臼、肘内障、腱板損傷、上腕二頭筋長頭腱炎</p> <p><上肢、体幹の認定実技:固定> 定型的鎖骨骨折、上腕骨骨幹部骨折、コーレス骨折、第5指中手骨頭部骨折、肋骨骨折、 肩鎖関節上方脱臼、肩関節烏口下脱臼、肘関節後方脱臼、手第2指PIP関節背側脱臼</p> <p><下肢の認定実技:診察検査法> ハムストリングス損傷、大腿四頭筋打撲、膝関節側副靭帯損傷、膝関節十字靭帯損傷 膝関節半月板損傷、下腿三頭筋損傷、足関節捻挫</p> <p><下肢の認定実技:固定> 足関節テーピング(バスケットウィープ、フィギュアエイトとヒールロック)、アキレス腱断裂のクラメル固定、 下腿骨幹部骨折のクラメル固定、膝関節テーピング、足関節厚紙副子固定</p>		
評価	<p>筆記試験と実技試験で各期末の評価とする。</p> <p>出席状況、授業態度、小テストなどは年度末の総合評価の時点で加味することがある。</p>		
備考	<p>授業時の服装・身だしなみ等は「学生便覧」に準じる。</p> <p>「神経血管損傷の有無の確認」の練習のためすぐに裸足になれるような状態にいること。</p> <p>包帯・ホワイトテープを使用するので、いつでも使えるように準備しておくこと。</p>		
参考書等	<p>配布プリントでの授業</p> <p>柔道整復学理論編、柔道整復学実技編</p>		

第3学年 科目(柔道整備実技Ⅶ)

担当(金子 充夫)

週	編	章	時数	日付	内容
1			1	4月12日	定型的鎖骨骨折、上腕骨外科頸外転型骨折
2			2	4月19日	コーレス骨折、肩鎖関節脱臼
3			3	4月26日	肩関節烏口下脱臼、肘関節後方脱臼
4			4	5月10日	肘内障、腱板損傷、上腕二頭筋長頭腱炎
5			5	5月17日	定型的鎖骨骨折、上腕骨幹部骨折
6			6	5月24日	コーレス骨折、第5指中手骨頸部骨折、肋骨骨折
7			7	5月31日	肩鎖関節上方脱臼、肩関節烏口下脱臼
8			8	6月7日	肘関節後方脱臼、手第2指PIP関節背側脱臼
9			9	6月14日	ハムストリングス損傷、大腿四頭筋打撲、膝関節側副靭帯損傷
10			10	6月21日	膝関節十字靭帯損傷、膝関節半月板損傷
11			11	6月28日	下腿三頭筋損傷、足関節捻挫、膝関節テーピング、足関節厚紙副子固定
12			12	7月5日	足関節テーピング(バスケットウィーブ、フィギュアエイトとヒールロック)
13	認定実技		13	7月12日	アキレス腱断裂のクラマーメル固定、下腿骨幹部骨折のクラマーメル固定
14	審査要項	実技試験	14	7月19日	前期末試験(実技①)
15		実技試験	15	7月26日	前期末試験(実技②)
16		実技試験	16	8月2日	前期末試験(実技③)
17		実技試験	17	8月23日	前期末試験(実技④)
18		前期末試験	18	8月30日	前期末試験(筆記)
19		解答・解説	19	9月6日	解答・解説
20			20	9月13日	認定実技審査に向けての実践練習
21			21	9月27日	認定実技審査に向けての実践練習
22			22	10月4日	認定実技審査に向けての実践練習
23			23	10月11日	認定実技審査に向けての実践練習
24			24	10月18日	認定実技審査に向けての実践練習
25			25	10月25日	認定実技審査に向けての実践練習
26			26	11月1日	認定実技審査に向けての実践練習
27			27	11月8日	認定実技審査に向けての実践練習
28			28	11月22日	総合演習①
29			29	11月29日	総合演習②
30			30	12月6日	総合演習③
31		後期末試験	31	12月13日	後期末試験
32		解答・解説	32	12月20日	解答・解説
33			33	1月10日	総合演習④
34			34	1月17日	総合演習⑤
35	総合演習		35	1月24日	総合演習⑥
36			36	1月31日	総合演習⑦
37			37	2月7日	総合演習⑧
38			38	2月14日	総合演習⑨
39			39	2月21日	総合演習⑩
40			40	2月28日	総合演習⑪

※日程は変更されることがあります。

合計時数

講義科目名	演習Ⅲ	分野区分	応用分野
担当教員名	黒岩 靖史	講義回数	25 回
履修学年	第 3 学 年	履修期間	通 年
講義内容	柔道整復師にとって必要となる事項を知識としてしっかりと備えているかの総確認を行う。		
評 価	筆記試験にて評価を行う。 出席状況、授業態度などは年度末の総合評価の時点で加味することがある。		
備 考			
参考書等	1年生・2年生・3年生での各授業で使用した教科書、配布された資料		

第3学年 科目(演習Ⅲ)

担当(黒岩 靖史)

週	編	章	時数	日付	内容
			1	4月5日	オリエンテーション
			2	4月5日	オリエンテーション
			3	4月5日	オリエンテーション
			4	6月9日	外部模試①
			5	6月9日	外部模試①
			6	11月17日	外部模試②
			7	11月17日	外部模試②
			8	11月17日	外部模試②
			9	11月17日	外部模試②
			10	11月30日	実力判定試験①
			11	11月30日	実力判定試験①
			12	11月30日	実力判定試験①
			13	11月30日	実力判定試験①
			14	12月22日	外部模試③
			15	12月22日	外部模試③
			16	12月22日	外部模試③
			17	12月22日	外部模試③
			18	1月12日	実力判定試験②
			19	1月12日	実力判定試験②
			20	1月12日	実力判定試験②
			21	1月12日	実力判定試験②
			22	2月9日	外部模試④
			23	2月9日	外部模試④
			24	2月9日	外部模試④
			25	2月9日	外部模試④
合計時数			25	※日程は変更されることがあります。	